

2015 年度森基金成果研究報告書

青海省のチベット族による日本語学習の動機づけについて考察

－漢民族の動機づけとの比較から－

政策・メディア研究科 CB 所属

修士二年 孟 芳

研究概要

本研究の目的は、青海省の高等教育機関で日本語を専攻する日本語学習者を対象者として、日本語学習動機づけを明らかにすることである。特にチベット族の日本語学習の動機づけを漢民族の動機づけと比較することにより、その特徴を明らかにすることである。研究対象者の性質により（民族性と留学経験の有無）、①留学経験なしチベット族日本語学習者、②留学経験ありチベット族日本語学習者、③留学経験なし漢民族日本語学習者、④留学経験あり漢民族日本語学習者を四つのグループに分けて分析した。留学経験は漢民族日本語学習者とチベット族日本語学習動機にどのような影響を与えるのかを明らかにし、違う民族の日本語学習者の間にどのような違いがあるのかを明らかにした。

研究目的

本研究は、青海省の高等教育機関で専攻としての日本語学習者を対象として、日本語学習動機の実態を解明することを目的とする。チベット族の日本語学習の動機づけを漢民族の動機づけと比較することにより、その特徴を明らかにすることである。さらに、各日本語学習動機が留学経験の有無によって違いがあるかどうかを明らかにする。

研究意義

現在までの日本語学習動機づけ研究の中に、中国人大学生の日本語学習の動機づけに関する文献は数多くあるが、チベット族の日本語学習者に関する研究は非常に少ない。そのため、この研究を遂行することにより、チベット族の日本語学習動機づけを明らかにすることができ、動機づけ研究への理論的貢献が期待できる。チベット族の日本語学習者がより日本留学に対する熱意を持てる原因と日本語学習動機づけの変化を明らかにすることができ、青海省日本語教育事業と留学事業に役に立つことができる。

研究結論

本研究は青海省のチベット族日本語学習者と漢民族日本語学習者を対象として日本語学習動機づけについて調査した。日本語学習動機の38項目の調査項目を作り、リッカート尺度の5段階評価をさせた。収集したデータに三つの方法（①強く賛成した前三位を明らかにして分析、②研究対象者四つのグループをノンパラメトリック検定で分析、③因子分析）で分析した。まず、各調査項目における「強く賛成」と評価した調査項目の上位三位を明らかにした。チベット族日本語学習者は第一位に「項目10、日本に旅行したい」、第二位「項目5、日本の先進的な科学技術に興味がある」、第三位「項目23、自分自身の視野を広める」という結果が出た一方、漢民族日本語学習者は第一位「項目10、日本に旅行したい」、第二位「項目25、日本語試験などの資格を取りたい」、第三位「項目20、新しい言語を身につけるようになりたい」という結果が出た。チベット族日本語学習者は日本に対する憧れの欲求が主に関係があると思われる。漢民族日本語学習者はエリート主義の影響が強いと分かった。次に、U検定を行った結果、「項目5、日本の先進的な科学技術に興味がある」と「項目18、日本で商機を探したい」「項目37、日本語の授業では、友達と協力して勉強できていると思う」と「項目38、学校の日本語グループ活動には、協力的に取り組んでいると思う」頻度的に有意差が出た。しかし、一体どちらの動機に属しているか、U検定から見られないので、因子分析で分析することになった。最後に、因子分析を分析した結果、「自己実現因子」「日本理解因子」「満足因子」「関係性因子」「仕事因子」「有能感因子」「憧れ因子」の七つ因子が抽出された。エリート主義の「満足因子」は民族性と関係があるが、留学経験と関係がなかった。統合的動機づけの因子4「関係性因子」は、チベット族日本語学習が留学経験を問わず関係があると分かった。因子7「憧れ因子」は、チベット族日本語学習者と漢民族日本語学習者の間に有意差が出た。また、留学経験の有無を問わずに漢民族日本語学習者の間にも有意差も出た。しかし、チベット族日本語学習者の間に有意差が出なかった。

今後の課題

本研究は78名を対象者に横断的研究方法を採用した。学習者個人の学習経歴が把握できず、対象者の等質性を維持することができなかった。今後、青海省のチベット族日本語学習者の日本語学習の動機づけの推移を調べるため縦断的研究を行いたい。また、今回の研究では研究の焦点として置かなかったチベット族日本語学習者の特別な民族性と動機づけの関係についてもさらに詳しく明らかにすることも望まれる。具体的には、学習者の日本言語文化に対する心情、またその推移について詳しく理解するために、ライフストーリー調査を行い、数量だけでは見えてこない、学習者の内在するL2学習の要因などを詳細に記述していき、動機づけ研究領域に貢献できればと考えている。